

# うま獣医のよもやま話 ② 柴田 良 獣医師

## 子宮内貯留液について



浦河診療所 柴田 良  
平成19年 北里大学卒業  
卒業後1年間、静内の開業獣医師の下で勤務。  
平成20年より日高軽種馬農業協同組合・荻伏診療所勤務。  
平成21年より日高軽種馬農業協同組合・浦河診療所勤務、現在に至る。

### 【はじめに】

軽種馬農協浦河診療所勤務の柴田良と申します。4月になり繁殖シーズンも真っ只中ということで、今回は繁殖に関するお話をさせていただきます。今回のテーマは『子宮内貯留液』についてです。子宮内貯留液とは文字通り、『子宮内に貯まっている液体』のことで、エコーによる直腸検査時に「子宮に液体が貯まっています。」といわれた経験が皆様にもあると思います。子宮内貯留液は様々な原因によって生じ、受胎率の低下や早期胚死滅の発生に影響を与えるとされています。よって受胎率の向上や早期胚死滅の防止のためには、エコーで子宮内貯留液の有無を確認し、子宮内貯留液を排除するための適切な処置を行うことがとても重要になってきます。



エコーによる子宮内貯留液の確認

### 【貯留液の原因】

貯留液は子宮内で多量の液体が産出（分泌）されたり、子宮内の貯留液を排除できない場合（液体を排出するために必要な子宮の収縮力の低下、液体を吸収する能力の低下、外口が適切に開かず液体が排出できないetc）に観察されます。細菌やカビが子宮内に感染すると多量かつ濁った貯留液が観察される傾向があります。

### 【貯留液の検査】

まず、エコー検査によって子宮内貯留液の有無を確認します。子宮内貯留液が有る場合はその貯留液の量と質を評価することが重要になってきます。

#### (1) 子宮内貯留液の量の検査

貯留液の量が少量であるならば、貯留液は自然と子宮内から排除され受胎への影響は少ないのですが、貯留液の量が多量だと受胎に大きな影響を及ぼします。また、子宮内貯留液が多量に見られる場

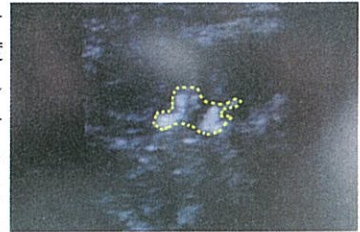


写真中央部の黒色の部分が貯留液

合は、細菌やカビの子宮内への感染が起きていることも考えなければいけません。

#### (2) 子宮内貯留液の質の検査

貯留液の質は、エコー上で貯留液がどの程度濁っているかを観察します。貯留液がエコーで白く見えれば見えるほど、その貯留液がより濁っていると考えられます。



写真中央部の濃い白色部分が貯留液（より濁っている貯留液）

以上のことからエコーで多量の貯留液や濁っている貯留液が見られた場合には、細菌やカビの子宮内への感染が疑われます。そのような場合には、貯留液を綿棒で採取し顕微鏡で観察することで細菌やカビによる感染の有無を確認することができます。さらに貯留液中の細菌やカビの培養を行うことで、原因となっている細菌やカビを確定できることもあります。



顕微鏡による貯留液の検査

### 【貯留液に対する処置】

貯留液に対する処置の主なものに子宮洗浄、子宮内薬注、子宮収縮剤の注射などがあります。もし貯留液が多量である場合や、濁っている場合には子宮洗浄を繰り返し行わなければならないこともあります。また細菌やカビの感染がある場合は、その原因菌に効く抗生物質やカビの薬を子宮内に注入する必要があります。子宮収縮剤は子宮を収縮させ、貯留液を排出させるので貯留液の処置として大変効果があります。

### 【最後に】

子宮内に貯留液がある状態で種付けを行うと、種付け時に子宮内に侵入した細菌により感染が成立する可能性が高まります。よって、種付け前には卵の大きさだけではなく子宮内の貯留液の診断、処置がとても大切になってきます。また種付け後も細菌感染や余分な精子による炎症により液体が貯留する場合がありますので、排卵確認と同時に子宮内貯留液の診断、処置が大切です。受胎率の向上や早期胚死滅の防止のために、種付け前後のエコーによる貯留液の検査、処置を行うことをお勧めします。